

編 集 後 記

- ☆ 昭和45年11月、本誌創刊以来、歳月を重ね、此の程22年を迎えた。幸い館内外の識者の理解と協力を得て、すくすく成長し、しっかりと根を下したようである。此れ迄のご協力に謝し、今後とも江湖のご支援と叱正を期してやまない。
- ☆ 研究ノートには2篇の研究成果を載せた。一つは、百年以上にわたる長い漢籍収集、構築の経過と成果とを、具体的に明らかにした好論文。日常の参考調査業務に大いに役立つものと期待している。もう一つは、前号の蘭書の座談会について、今回は蘭書に関する論文を取り上げることにした。当館の蘭書コレクションをはじめ広く文献に当たり、綿密に調査、考察を行ってとりまとめたものであるが、さらに、その方面のご批判をえたいところである。
- ☆ 国会会議録索引は、文字通りの労作である。草創期の国立国会図書館の組織・業務・蔵書等の諸事項の調査には欠くことのできない資料となろう。
- ☆ 次の40号の刊行は、9月中に予定しており、編集準備に取り掛っている。ご期待下さい。(馬場)

☆ 編集委員

寺村由比子

馬場 萬夫 (参 考 課)	富田美樹子 (官庁資料課)
土屋 紀義 ( " )	広瀬 順皓 (政治史料課)
田中 克彦 ( " )	折田 洋晴 (科学技術資料課)
長嶋 孝行 ( " )	宮島 安世 (アジア資料課)
戸沢 幾子 ( " )	野村 稔 (特別資料課)

参考書誌研究 第39号 平成3年3月30日発行

編 集 国立国会図書館専門資料部

発 行 国立国会図書館

東京都千代田区永田町1の10の1 (〒100)

電 話 3581-2331 (代)

印 刷 株式会社 ディグ 電話 3551-3060 (代)

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜き差しし転載されるにあいには、事前に専門資料部参考課へ連絡してください。